

玉名税務署から感謝状贈呈

6月29日、令和3年分の所得税の確定申告書の「データ引継」を積極的に取り組んだことにより、住民サービスの向上や、行政事務の効率化に貢献したとして、玉名税務署長から和水町へ感謝状が贈呈されました。

「データ引継」は、町で受け付けた所得税の確定申告書をデータ化し、専用回線で税務署に送るシステムのことです。書面の申告書を職員が税務署に提出する従来の方法に比べ、申告者への還付金の早期還付や、行政の事務量削減などが可能となります。



石原町長（左）、荒木吉春玉名税務署長（右）

コミュニティ助成事業を活用し、防災資機材を整備しました

一般財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用して、平野区自主防災会と和水町消防団が消防防災活動に必要な備品の整備を行いました。

平野区自主防災会では、ヘルメット、投光器、発電機、エンジンチェンソー、トランシーバーなどを整備し、安全で効率的な自主防災活動ができるようになりました。

和水町消防団では、背負い式消火水のうを16台整備しました。林野火災時などの火災被害の軽減が期待されます。

このコミュニティ助成事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの助成金で実施されるものです。

今後の平野区自主防災会と和水町消防団の消防防災活動の充実に期待します。



①平野区自主防災会が整備した発電機②平野区自主防災会が整備したエンジンチェンソー③和水町消防団に配備した背負い式消火水のう

中山間農業奮闘記 vol. 2

板楠小原集落では「観賞用ホオズキ」の栽培を始めて今年で4年目。待望の初出荷を迎えました。これまでの3年間は土壌病害や生育の不揃いにより出荷できず試行錯誤の連続で大変苦労されました。今年は無事に7月盆向け商材として3,300本出荷され、市場評価も上々で、地域活性化の起爆剤となる新たな品目定着へ向け一歩ずつ前進されています。



板楠小原集落の皆さん

廣田彩花選手が町長を表敬訪問されました

7月15日、廣田彩花選手（電門出身）が町長を表敬訪問されました。

廣田選手は、昨年開催された東京2020オリンピックに日本代表として出場され、右ひざ前十字靭帯断裂の大怪我を負いながら5位入賞（ベスト8）し、町民に勇気と感動を与えてくれました。

廣田選手は今後の抱負として「怪我から復帰して成長した姿を町民の皆さんに見せられるようこれからも頑張ります。」と力強く語られました。

廣田選手の今後ますますのご活躍を期待しています。



（左上から）高木議長、中村後援会事務局長
（左下から）石原町長、廣田選手

令和4年春の叙勲（消防関係）にて瑞寶小綬章を受章

7月7日、中村精也さん（電門）が、瑞寶小綬章を受章されたことに伴い、町長を訪問されました。春の叙勲（消防関係）とは、消防正監以上の階級に在職され、年齢70歳に達した功労者に対して授与されるものです。

中村さんは、昭和50年に有明消防組合に採用され、平成25年に定年退職されるまで、資性温厚な中にも確固たる信念を持ち、職務に対し常に前向きな姿勢を崩さず、適確な指導力と判断力をもって、部下職員の教育および組織の充実発展に大きく貢献されました。その功績が認められ、この度の受章となりました。

中村さんは、「諸先輩方や同僚の皆さんに支えられ、このような勲章をいただくことができました。心から感謝しています。」と話されました。



石原町長（左）、中村精也さん（右）

高齢者叙勲にて旭日単光章を受章

7月7日、4月に米寿を迎えられた倉光薫さん（志口永）が旭日単光章を受章されたことに伴い、ご本人へ勲章の伝達が行われました。

高齢者叙勲とは、地方自治の育成発展に貢献し、年齢88歳に達した功労者に対して授与されるものです。

倉光さんは、昭和62年に旧菊水町議会議員に当選されて以来、永きにわたり菊水町議会議員、平成7年から平成11年の4年間は副議長の職を務められ、当町の発展に大きく貢献されました。また、蚕産や生産牛飼育などの複合農業に挑戦し、地域産業向上への貢献が認められ、この度の受章となりました。

倉光さんは、「家族や町民の皆さまの支援があって受章することができました。感謝申し上げます。」と話されました。



石原町長（左）、倉光薫さん（右）